

学習意欲を高め、基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付ける大瀬っ子プラン

本校の課題

- 学習に対する興味・関心・意欲の向上
- 基礎基本の確実な定着
国語・・・「読むこと」(説明文)
算数・・・「図形」
- 基礎力に基づき、問題や課題解決に向け考え、行動する力。実践力。
- 家庭での学習習慣の定着
- 基本的生活習慣の確立

基礎基本の定着を図る取り組み

- 読み、書き、計算(習熟まで繰り返す指導)
- 少人数指導(3年生以上の算数)
- ICTを活用した個別最適化
- スマイル塾(個に応じた取り出し指導)
- おおぜくンタイムでの読解力育成

学校課題研修の充実

- 21世紀型能力を育成する国語科教育の実践
- 児童の実態把握と方策の検討
- ICTを活用した効果的な授業実践
- 指導と評価の一体化
- 学び合い教え合う教師集団づくり

学校教育目標

よい子の育成

～知・徳・体のバランス～

21世紀型能力を育成する 国語科教育の実践

一人一人の力を伸ばす

「全員思考」「全員発表」「全員完了」
の授業を目指す

日常的な実践の積み重ね

読書活動の充実

- 読書タイムの充実
- 様々な読書活動の推進(読書月間、なかよしブック縦割り読書、おすすめの本)
- 学校図書館の整備・充実

改善への重点方策

- 積極的な生徒指導の充実により、学習集団としての学級の質を高める。(全員授業)
- 児童の言語環境を整備し、児童の言語活動を充実させる。(美しい言葉)
- 体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、児童主体の学習を展開する。
- 個に応じた指導の充実に努める。

授業の充実(わかる授業の展開)

- 「八潮スタンダード」と「大瀬スタンダード」の徹底
- 「脱おしゃべり授業」による児童の思考時間の確保
- 学習内容・話合いの意図の明確化
- 表現力を高める取り組み(行事作文・感想文)
- 算数科における少人数指導の充実
- 学習ボランティアの活用
- 9年間を見据えた系統的な指導

家庭・地域との連携

- 家庭学習の時間確保と習慣化(学年×10分)
- 宿題実施100%の取り組み(音読カード、課題日記、200字作文、算数プリント等)
- 学校応援団、学習ボランティアとの連携
- 基本的生活習慣の確立(早寝・早起き・朝ご飯)

〈授業改善〉

授業のきっかけ作り・教え込む事と発見気づかせる事を明確にしたり、学習形態を工夫したりする。児童の思考時間の確保。

※「大瀬スタンダード」「“聴いて、考えて、つなげる”伝え合う学習」を推進

〈授業の終末〉

クロームブックに振り返り「よいこ」を書かせ、蓄積する。学習内容を子ども自身が再確認したり、考えている事を書いたりする中で、再思考を促す。